

ふらべじ

Flower&Vegetable

Vol.3 1997.
2.28
春待ち号

発行 北海道立花・野菜技術センター 滝川市東滝川735 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299



北国のさわやかな夏に

メロン

Cucumis melo

var. reticulatus

「マスクメロンって何でしょう？」と質問されたら何と答えますか？

「ネット顔（マスク）のメロンのことでしょう」と答える人が多いのではないのでしょうか。

実は違うんです。正解は・・・

マスクメロンは muskmelon（正確に読めばムスクメロン）と書き、「じゃこの香りのするメロン」という意味なんです。マスクは mask（顔）ではないんです。

北海道のおいしくて香り高いメロンを食べられる季節が近づいてきました。今年も楽しみです。

去る1月20～24日、北海道農業試験会議（成績会議）が開催され、花・野菜関係では17題の研究成果（資材試験除く）が普及されることになりました。

当センターから提出し、指導参考事項に決定した3課題をご紹介します。

カラーの採花率向上技術—花き第二科

カラーは高級花材として人気のある花ですが、生産段階では採花率の低さが問題となっています。そこで、採花率を高める方法について検討しました。

一般栽培における採花率向上のためのポイントは右のとおりです。

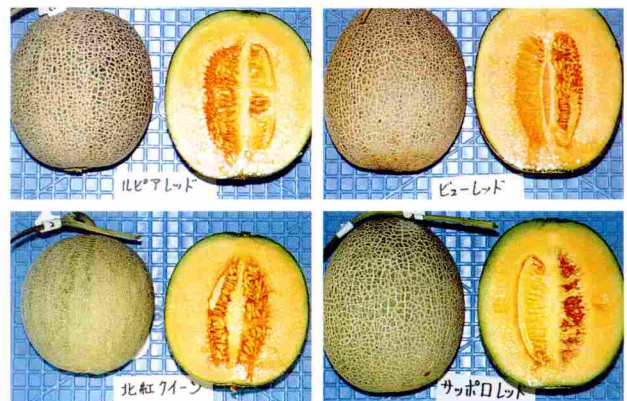


- ① 定植前1カ月間、15～20℃で催芽処理を行う。
- ② 萌芽した無病・無傷の球根を選ぶ。
- ③ 催芽処理前および定植前のジベレリン処理も有効。
- ④ 定植は10cm程度の深植えにする。植穴にピートモスなどの無病培土を施用すると軟腐病の予防になる。
- ⑤ 灌水は生育前半（花茎が伸び始めるまで）は十分に。地温上昇と乾燥の防止のために稲わらもしくはポリワラマルチをする。
- ⑥ 5℃に加温したハウスで据え置いた株は翌年採花本数が増える。

赤肉メロンの品種特性調査—野菜第一科

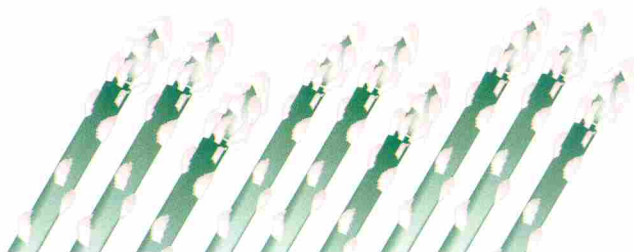
平成6年から8年までの3年間、赤肉メロン51品種について品種比較試験を行いました。その中で成績の良かった品種が写真の4品種です。

流通サイドからは高品質が、栽培サイドからは作りやすさが要求されていますが、これらの品種はそれらの要求をほぼ満たすと思われます。特に「ルピアレッド」は品質の安定度と栽培しやすさ、耐病性の強さなどで一歩リードといったところでしょうか。



グリーンアスパラガスの品種特性調査—野菜第二科

アスパラガスは北海道の特産品として古くから栽培されてきました。近年の育種関連技術の発達により、F1品種の育成やすべて雄株だけの品種などが登場していて、これらの特性を調査しました。播種後5年目までの成績ですが、13品種を供試した中で収量性などが良好だった品種は右の4品種です。



「ウエルカム」 雄株と雌株が混在する。草勢は強い。収量性は高く、若茎の品質は良好。

「フルーツ」 雄株の割合は高い。収量性はやや高い。若茎の品質はやや劣る。

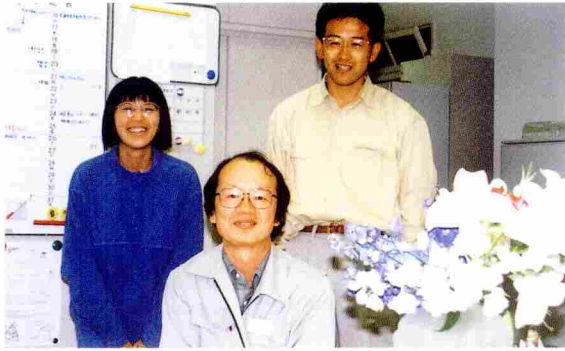
「北大系」 北海道大学農学部で育成。雄株の割合は高い。草勢は強い。収量性はやや高い。若茎の品質はやや良好。

「HLA-7」 雄株の割合はやや高い。草勢は強い。収量性は高い。若茎の品質は良好。

これらの研究成果は、専門技術員を通じて各地区農業改良普及センターに伝えられ、活用されます。

花・野菜技術センターではこんな面々が働いています

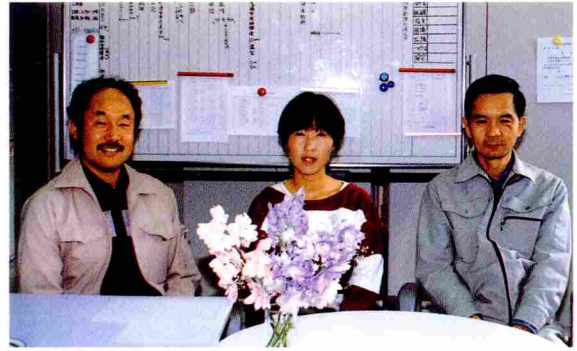
第2弾!



花き第一科

たてば花ユリ、坐れば???、歩く姿はカスミソウ

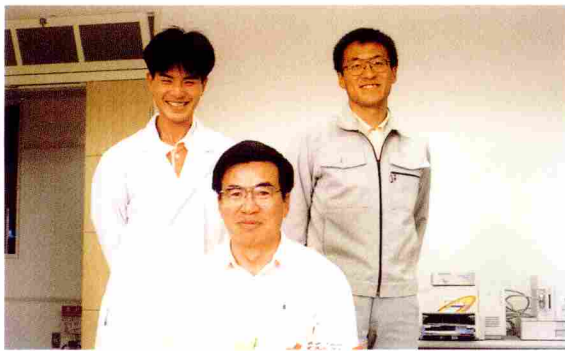
鈴木亮子 筒井佐喜雄 大宮知
(科長)



花き第二科

わしら真面目な花づくりトリオ

加藤俊介 立川さやか 印東照彦
(科長)



野菜第一科

花も実もあるウリウリ軍団

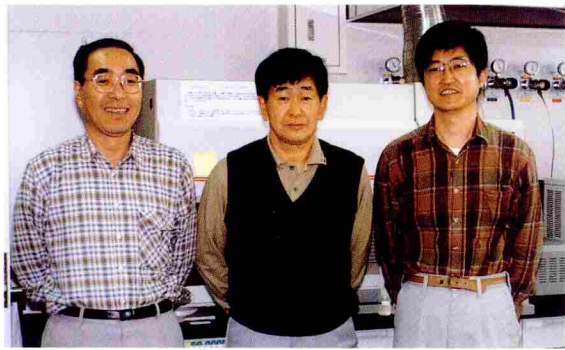
平井剛 中野雅章 中住晴彦
(科長)



野菜第二科

あくまでも優しい3人のジェントルマン

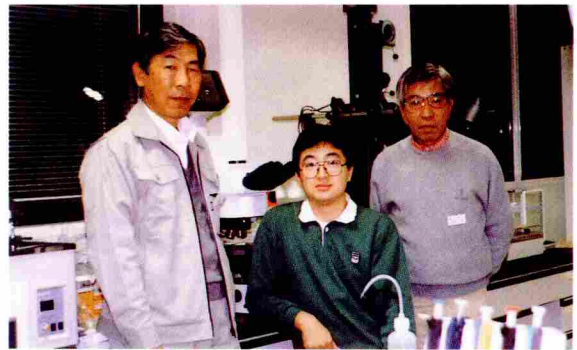
土肥紘 小田義信 志賀義彦
(科長)



土壌肥料科

ミニバレーに燃える元熱血青年たち

鎌田賢一 長谷川進 日笠裕治
(科長)



病虫科

能ある鷹は爪を隠す・・・それ本当?

水島俊一 堀田治邦 小高登
(科長)



専門技術員室

部屋にいるのは月に何日? 6人の一匹狼

川名淳二 熊谷秀行 及川弘
花田勉 伊丹清二 新名正勝
(総括専技)

研修生募集中!!

平成9年度北海道花き・野菜技術研修

花・野菜技術センターでは道内の中核的農業者や市町村、JA等の技術者、改良普及員を対象に研修生を募集しています。

専門技術研修－3カ月～1年間

個々の研修課題に応じた研究科に配置し、研究員による個別指導や研究の補助をしながら高度な専門技術を習得します。

総合技術研修－10週間

各コースについてカリキュラムに従った講義や実習に加えて課題研究や演習、実験により基礎から実践まで一貫した技術を習得します。

- 花き栽培コースⅠ期・Ⅱ期
- 野菜栽培コースⅠ期・Ⅱ期
- 花・野菜分析培養コース

お問い合わせは花・野菜技術センター総務課研修主査まで TEL0125-28-2800 (内線 209)

研修対象者

高校卒業またはこれと同等以上の学力を有する健康な方で、次のいずれかに該当する方とします。

- (1)農業に1年以上従事し、道内で花や野菜の生産に従事しようとする方。なお、農学系の大学、短大及び道立農業高等学校で農業実習を行った方はこれに該当します。
- (2)現在もしくは将来、花や野菜の中核的な技術指導者を志す方。

※具体的な内容・期間などについては「研修案内」をご覧ください。「研修案内」は各支庁、各地区農業改良普及センターに用意しています。

編集後記

花・野菜に因んだ北の魚

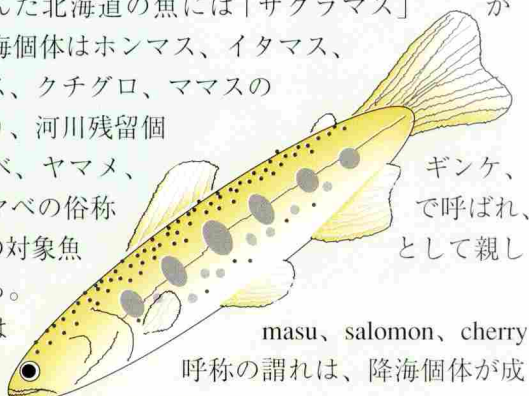
今回「ふらべじ」のコラム欄に原稿を依頼され、題材の選択に困窮したあげく、趣味の魚釣りと花・野菜を結びつけ、紙面の隙間を埋める務めを果たすこととした。

花に因んだ北海道の魚には「サクラマス」がある。降海個体はホンマス、イタマス、タイコマス、クチグロ、ママスの俗称があり、河川残留個体はヤマベ、ヤマメ、ギンケヤマベの俗称。溪流釣りの対象魚として親しまれている。

英名は masu, salomon, cherry salomon。呼称の謂れは、降海個体が成熟すると体色が桜色に変わるためとも、遡上の時期が桜の花の時期だからとも言われている。

野菜に因んだ魚には「キュウリウオ」がある。呼称の謂れは胡瓜に似た香りがあるためとされる。俗称キュウリ、英名 rainbow smelt。春、産卵のため川を遡上するが釣魚としての人気は薄い。両種とも塩焼き、天ぷら、フライにて食すると美味で、肴に絶好である。

(専門技術員室 花田 勉)



◆早いもので花・野菜技術センターができて1年が過ぎようとしています。真新しい研究室、造成されたばかりの畑でみんな悪戦苦闘しました。そして私には編集長の大役！どうなることかと思いましたが、委員の皆さんに好き勝手を許してもらって、存分に楽しんでしまいました。来年度は少し仕事を離れて、おむつとおっぱいの日々を満喫してきます。またお会いできる日までさようなら。ありがとうございました。(アラレ)

◆原稿集めを担当することになって早いもので1年が過ぎようとしています。出張が多く他の編集子には迷惑をかけましたが、発刊する度の打ち上げには必ず参加させて貰いました。作り手側は楽しく「ふらべじ」を出してきました(陰の声：それはおまえだけ)が、受け取られた皆さんの3号までの感想や如何？(K)

◆「滝川の雪はすごいぞ！」と脅かされて赴任された方々は、年明け後の穏やかな天候を見て「それほどでもないな」と感じていたことと思います。見たか。今日の雪を。除雪する後から後から積もっていく、これが本来の滝川なのだ。小生、朝早くから久々の除雪(運動不足との声もあるが)で疲れた2月19日、週半ばの朝です。そんなことで編集後記にかえさせていただきます。(滝川の主)

◆研究職員は笑いません。今回の顔写真ではなんとか笑顔の写真をと頑張ったのですが、これがなかなか難しい。日本では笑顔の写真を撮るときに言う言葉はチーズ。ちなみにイギリスはサラミ、韓国はキムチ、中国は茄子。いずれも食べ物なのが面白いですね。やはりおいしいものを食べる時が一番幸せって感じなのでしょう。ふらべじ編集もこれでお役御免。後は打ち上げを待つのみです。どんなおいしいものを食べられるか、今から楽しみです。(H、H)

◆先日、当センターで花・野菜新技術セミナーを開催しました。本年度、農業試験場で新たに開発された技術を、市町村やJAの技術職員を対象に紹介するというものでしたが、あいにくの天候でJRや高速道が不通になるといった中、60名近くの方が参加してくれました。機会があればセミナーの様子などをお伝えできればと思っています。

最後に編集委員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。(T)